

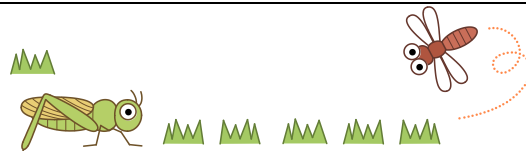


田原っ子

NO. 10

 鴨川市立田原小学校
 文責 前田 桂子

夏の暑さを楽しむ子どもたち



2年生の教室の外に大きく生長したミニトマトが並んでいます。それらを眺めながら、「これから、毎日夕飯のおかずに持ち帰れそうだなあ。」などと考えながら下校指導をしています。暑い日が続いていますが、この暑さがミニトマトの生長には必要なのですね。夏には夏の野菜があるように、暑い時には暑い時の楽しみ方があるのだということを子どもたちの様子から感じます。

何といっても一番の楽しみ方は、**大汗をかいて遊ぶこと**です。田原の子どもたちは、学年を問わず一緒に遊びます。特に、昼休みのサッカーは、職員も交えて大勢の子どもたちがボールを追って走り回っています。寒い季節にはボールを追って身体を温め、暑い季節にはボールを追って大汗を流しています。最近では、こども園側の草むらにバッタやトンボがいます。このことに「ピピッ!」と気付いた子どもたちは、虫かごをもって虫を追いかけてたりつかまえたりして遊んでいます。たくさんつかまえると、キャッチ&リリース精神で放してあげています。なんとも優しいのです。子どもたちは、その時期ならではの過ごし方を楽しんでいます。

子どもたちは、**熱中症に負けない身体づくり**が上手です。気温や湿度、体調の様子に合わせて夏を楽しんで過ごせるとよいですね。

水泳授業開始

6月19日(月)に、3~6年生でプール掃除をしました。水泳の授業を行うために欠かせない活動です。同様に、緊急時の救急法を学ぶことも水泳授業を行うために欠かせない活動です。

6月27日(火)、鴨川消防署の方を講師に招き、PTA研修部と学校の共催で心肺蘇生法講習会を行いました。放課後にもかかわらず、10名のPTA会員が参加してくれました。水泳は楽しい学習ではありますが、もしもの時には、即、命にかかわる学習でもあります。意識のない人への救助対応を実技を通して研修することができました。この研修が役立つような事態が起こらないよう、健康状態を確認し指導体制を整えて水泳の授業に取り組んでいるところです。

学校は、毎年この研修を行っています。PTA会員の中で心肺蘇生法を学びたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ、来年は一緒に研修しましょう。



放課後時間

ずっと昔、担任の頃の話です。子どもたちが下校した後、ホームセンターに花の土を買いに行った時のこと。保護者の方が私を見つけて声をかけてくださいました。「先生、いつもお世話になりありがとうございます。この時間にはこうやってお買い物ができちゃうんですね。先生っていいですねえ。」いやいや、個人としてショッピングをしているわけではありません。でも、もしかしたらそう思われているのかもしれないと思いました。私たちの放課後は、主に翌日の授業準備や分担している仕事の事務処理で過ぎていきます。おたよりの作成や各種会議もあります。また、少し前であれば保護者面談について、職員室で声を掛け合い兄弟関係を考慮し時間調整をしていました。その他にも、授業力を高めるために研修も行っています。

先日は、皆で声を掛け合って自主的に集まり、eライブラリの機能や体育授業の場づくり等について研修に取り組んでいました。子どもたちが家庭学習をがんばっている頃、田原小の教職員もこのように仕事をがんばっています。



専門家の協力を得た教育活動

落語出前授業



6月27日(火)、落語家の さんによる落語の出前授業を行いました。国語の学習で既に落語を学んでいた4年生の子どもたちですが、本物の落語に触れたことで新鮮な発見があったようでした。教務主任の 教諭も、当日は有難亭白墨という名で登場し、子どもたちの前で落語を披露してくれました。 さんは、「落語を学べたし胸切りを聞いておもしろかった。もっとやってみたくて思った。」と話していました。また、来年もぜひ来ていただきたいと思います。



租税教室



6月30日(金)、税務署の職員を講師として招き、6年生を対象に租税教室を行いました。子どもたちにとってはあまりなじみのない税金ですが、わかりやすく説明してくださいました。税金がない世の中だと自分たちの生活にどのような影響があるのかに関心をもって聞いていました。また、学校の校舎や体育館、プールを作るためには総額16億円ほどのお金がかかるということにとっても驚いていました。税金の必要性を感じたことと思います。大人になったら、正しく税金を払える人になれそうですね。